

山崎達也教授が日本シミュレーション学会の令和2年度学会賞の論文賞を受賞しました。

山崎達也教授が、日本シミュレーション学会の令和2年度学会賞の五つの部門の内の一つである論文賞を受賞しました。

受賞論文：

“都市避難シミュレーションにおける追従性心理の導入と遅滞リスク軽減モデル提案,”
日本シミュレーション学会和文論文誌, 10 巻, 1 号, pp.17-24, March 2018.

受賞者：

玉井拓之¹⁾, 山崎達也²⁾, 大和田泰伯³⁾, 佐藤剛至³⁾, 柄沢直之⁴⁾

¹⁾日本電気(株)(論文掲載時は新潟大学), ²⁾新潟大学, ³⁾情報通信研究機構, ⁴⁾開志専門職大学(論文掲載時は新潟大学),

本論文賞は、『日本シミュレーション学会論文誌』の Vol.10 No.1 (2018 年) から Vol.11 No.4 (2019 年) に掲載された論文を対象に、最も独創性の高い優秀な研究論文として授与されたものです。当該論文では、都市レベルの大規模な災害時の避難行動をコンピュータ上で忠実に再現するために、避難する際に多くの人が逃げる方向に同調してしまう追従性という心理特性を導入し、集団の避難行動の速度を評価したものです。この評価結果より、避難の迅速性は避難場所を知っている避難者の割合に依存することを明らかにし、平時における準備の重要性を再確認した点が評価されたものです。なお、筆頭著者の玉井拓之君は、発表当時新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程2年であります。

